

大学図書館研究会東京地域グループ
2022/2023年度総会議案

1.	第1号議案	1
1.1.	2021/2022年度活動総括	1
1.2.	2021/2022年度決算報告・会計監査報告	3
2.	第2号議案	3
2.1.	2022/2023年度活動方針	3
2.2.	2022/2023年度予算案	4
2.3.	2022/2023年度地域グループ運営委員会及び会計監査人	4

1. 第1号議案

1.1. 2021/2022年度活動総括

① 特記事項

1. 編集小委員会からの依頼により、会報『大学の図書館』5月号の編集を担当した。
テーマ：学習指導要領改訂と「高大連携」

② 研究企画（担当：小林，山口）

京都地域グループとの合同オンライン見学会を1回、関東地域グループ合同例会を1回開催した。また、オンラインでの情報交換会を1回、対面での情報交換会を1回開催した。

- 第1回情報交換会
日時：2021年10月23日（土）14:00-15:00
会場：オンライン開催（Zoom）
トークテーマ：全国大会への参加報告
参加者数：14名
- 東京地域グループ・京都地域グループ合同企画「新図書館バーチャル見学会 ～大学内における位置づけと新たな役割～」
日時：2021年12月11日（土）10:00-12:00
会場：オンライン開催（Zoom）
内容：東京大学総合図書館および京都大学桂図書館のオンライン見学会
講師：原 香寿子 氏（東京大学附属図書館）／長坂 和茂 氏（京都大学桂図書館）
共催：京都地域グループ
参加者数：105名
- 関東地域グループ合同例会
日時：2022年2月5日（土）10:30-12:00
会場：オンライン開催（Zoom）
テーマ：大学図書館を飛び出した人たち
講師：森 いづみ 氏（県立長野図書館）／上村 順一 氏（国立情報学研究所）／安達 修介 氏（東

京大学／文部科学省行政実務研修生)

共催：千葉地域グループ

参加者数：56名

- 第2回情報交換会

日時：2022年6月18日(土) 14:00-15:30

会場：武蔵野プレイス(フォーラムA)

トークテーマ：今後の大学図書館への期待と不安(期待多めで)

参加者数：17名

③ 広報(担当：下城, 立原)

東京地域グループの情報を発信する手段として、地域グループニュースレター・地域グループメーリングリスト(以上地域グループ会員向け)、Webサイト・Twitter(以上2つは大図研非会員等対外向けを含む)を使用し、またこれらの安定運用に努めた。

1. 東京地域グループニュースレターを3回発行した。

・253号(2021年11月) / 254号(2022年3月) / 255号(2022年6月)

なお、PDF版については、東京地域グループのWebサイト上で公開している

(<https://daitoken.com/tokyo/newsletter.html>)。

2. 東京地域グループメーリングリスト(d-tokyo@daitoken.com)を用いて、例会等のお知らせを行った。

なお、登録アドレス数は2022年6月30日現在で97件(アドレス数。昨年度より3件減)である。

3. Webサイト(<https://daitoken.com/tokyo>)にて、ニュースレター、運営委員会記録、例会のお知らせ等を掲載した。

4. 東京地域グループ公式のTwitter(アカウント@dtk_tokyo)を活用し、当グループおよび大図研(他グループを含む)の活動PR等を行った。なお、ツイート数は合計202件(運用開始時からの累計)、フォロワー数は122名である(2022年6月30日現在)。

5. また、当地域グループで運用しているこれら4つの手段の他、大学図書館研究会(全国)のメーリングリストへの投稿を通じ、東京地域グループ主催の企画等周知に努めた。

④ 事務局(組織)(担当：下山)

2021/2022年度の新規加入会員6名、無所属からの入会1名、退会会員は5名であった。また年度中に過年度の退会が判明した会員が別に5名いた。(退会者合計10名)

2022年6月30日現在の会員数は85名である。

⑤ 会計(担当：青山, 松原)

1. 地域グループ活動費については全国事務局会費徴収担当より3回(7月, 1月, 6月)に分けて振込があった。過年度の未収金については引き続き実施し、支部時代の未納金の一部を回収することができた。

2. 支出については、オンライン主体のため交通費や会場費が発生しなかったこと、イベントで想定していた謝金やZoom拡張オプション費用が発生しなかったことなどにより、予算案に対して支出減となった。

⑥ 地域グループ運営委員会活動報告(担当：安達)

1. 下記の分担により東京地域グループの運営を行った。

a. 代表：安達

- b. 副代表：山口
- c. 事務局（含：組織）：下山
- d. 研究企画：小林, 山口
- e. 広報：下城, 立原
- f. 会計：青山, 松原
- g. 全国委員：下山
- h. オブザーバ：上村, 澤木, 高瀬

2. 2021年9月から2022年6月まで、以下のとおり地域グループ運営委員会を開催した。

回	年月日	開始時刻	終了時刻	会場
1	2021/9/14	19:30	21:00	オンライン
2	2021/10/13	19:30	20:40	オンライン
3	2021/11/16	19:30	20:35	オンライン
4	2021/12/16	19:30	21:12	オンライン
5	2022/1/19	19:30	20:45	オンライン
6	2022/2/22	19:30	20:50	オンライン
7	2022/4/21	19:30	20:42	オンライン
8	2022/5/16	19:35	20:10	オンライン
9	2022/6/29	19:30	20:50	オンライン

今年度は新型コロナウイルス感染症の状況も鑑み、オンラインのみでの開催となっている。オンライン開催の際は Google ドキュメントを使用したテキストチャットのほか、ビデオチャット（東京地域グループで契約している Zoom を使用）も併用している。

地域グループ運営委員会の議事要旨については、大学図書館研究会東京地域グループ Web サイト (<http://www.daitoken.com/tokyo/>) にて公開している。

また、運営委員会の作業をスムーズに行うため、グループウェア Backlog（無料サービス）と Microsoft365 を利用した。

1.2. 2021/2022 年度 決算報告・会計監査報告
（別紙）

2. 第2号議案

2.1. 2022/2023 年度 活動方針

① 研究企画

以下を目的として、年2回程度の講演会を実施する。また、会報『大学の図書館』編集を1号分担当し、東京地域グループをアピールする。

- a. 地域グループ会員による発表の場の提供
- b. 地域グループ会員の専門的知識の獲得と専門的スキルの向上
- c. 他地域グループ・研究グループ・他組織との交流

なお、講演会の実施に際しては、新型コロナウイルス感染症等の状況も踏まえながら、オンライン開催と対面方式での実施を使い分けることを検討する。新規会員の獲得や東京地域グループの認知度向上にも努める。

加えて、会員間の交流を深めることを目的として、会員限定の情報交換会を年2回程度実施する。引き続き、会員からの意見をより企画に反映できるよう留意する。

② ニュースレター「d-tokyo：大学図書館研究会東京地域グループニュースレター」

以下を目的として、年4回程度の発行を目指す。

- a. 地域グループ会員への情報提供
- b. 地域グループ会員間の交流
- c. 地域グループ会員による発表の場の提供

また、2021/2022年度に引き続き、印刷費・通信費の削減を図るため、(1)紙媒体の郵送、(2)電子版のみ、の選択肢を用意し、積極的に電子版のみの希望者を募る。

③ 広報

東京地域グループの活動を地域グループ内外に報知し、適切な情報提供・情報共有を行い活発な交流の場を実現するために、引き続き会員向けとしてニュースレターとメーリングリスト、対外向けにTwitterを活用する。合わせて、必要に応じて大図研の他組織にて運営する広報手段への掲載依頼を行う。

特に、対外向けに運用するウェブサイトやSNS(当地域グループのTwitter、全国組織のSNS)は不特定多数に当地域グループのみならず大図研を広く周知されることが可能であり、新規会員獲得に結びつけるための手段とも位置付ける。

また、大図研会員以外でも参加可能な例会等については、図書館関連イベント情報を発信する外部の媒体への告知を行う。

④ 事務局(組織)

全国組織との情報乖離が無きよう、全国組織から連絡があった際には迅速に対応を行う。

⑤ 会計

地域グループ活動費の金額の妥当性について検討する。

引き続き、収支バランスの適正化を図る。また、過年度会費未納者の督促を行う。

⑥ 地域グループ運営委員会

月1回程度の打合せを行い、東京地域グループの運営を合議によって決定する。オンラインによる打ち合わせを基本とするが、感染症等の状況も考慮しつつ、必要に応じて対面の打ち合わせも行う。

グループウェア Backlog, Microsoft365 を継続して活用する。

2.2. 2022/2023年度 予算案

(別紙)

2.3. 2022/2023年度 地域グループ運営委員会及び会計監査人

※総会当日に提案するものとする。

以上